

第42回関東学童軟式野球大会・東京新聞カップ 千葉県予選大会 【マクドナルド・カップ】

2019年6月22日(土)・23日(日)・29日(土)

- ・青葉の森スポーツプラザ野球場
- ・養老川臨海 第1球場
- ・養老川臨海 第2球場

《参加チーム》 トーナメント表順

- | | |
|------------------|-------------------|
| ★ 飯岡スポーツ少年団 (東総) | ★ シーダーズ (葛南) |
| ★ 木川ファイターズ (印旛) | ★ 習志野フェニックス (習志野) |
| ★ 請西ブレーブス (かずさ) | ★ 塩焼少年野球部 (市川) |
| ★ 鴨川リトルベアーズ (安房) | ★ 磯辺シャークス (千葉) |
| ★ 千葉市原マリーンズ (市原) | ★ 打瀬ベイバスターズ (千葉) |
| ★ F T J (船橋) | ★ 一宮少年野球クラブ (九十九) |
| ★ 東深井ボーイズ (東葛) | ★ 村上ファイターズ (八千代) |
| ★ ジュニアコスモス (北総) | ★ 四小地区少年野球クラブ (柏) |

《試合結果》 トーナメント表は県HP試合結果に掲示しております。

- | | |
|-----|-----------------|
| 優勝 | 磯辺シャークス (千葉) |
| 準優勝 | 四小地区少年野球クラブ (柏) |
| 第三位 | 習志野フェニックス (習志野) |
| 第三位 | 一宮少年野球クラブ (九十九) |



写真提供 共同写真企画



★ 磯辺シャークス 主将 小島 直大(コジマ ナオ)

僕たちは、関東学童3連覇を成し遂げた先輩を目標に、この大会に出場しました。このチームは何度か大事な試合を落とし悔しい思いをしてきたので、この大会は絶対に優勝するという気持ちで臨みました。下学年の選手達の応援も力になりました。僕はこの大会でピッチャーを務めました。投げている時、チームのみんなが良く守ってくれ、そして一球一球声をかけてくれたので、良いピッチングが出来ました。攻撃は毎試合相手より先に点を取って、良い流れで試合を進められたと思います。本大会も自分達の力を出し切って優勝旗を千葉県に持って帰って来ます。



★ 磯辺シャークス 推薦選手 小川 来皇(オカワ ライオ)

「絶対に勝つ」その思いで朝を迎えました。今まで何度も言われ続けてきた声を出し続けることの大切さをチーム全員で確認し、待ちに待った県大会の最終日を迎えました。準決勝を良い形で大勝し臨んだ決勝戦。キャプテンは心が折れやすく、すぐに下を向いてしまいます。生憎の雨で、なかなか自分の納得するピッチングが出来ていなかったのも、何度も「折れるな！」と声を掛けました。徐々に追い上げられる苦しい展開の中、みんなで声を出し続け、終盤の大量得点で優勝することが出来ました。本大会でも、千葉県代表として恥ずかしくない全カプレーで必ず優勝します。



★ 磯辺シャークス 監督 安達 亮二(アタチ リョウジ)

「なぜ勝ちたいの？」「勝ったら楽しいから」このシンプルな考え方がこのチームの原動力です。優勝まであと一歩が届かず、悔しい思いを重ねてきたチームでしたが、数々の悔しい思いを糧に選手達は大きく成長してくれました。決勝戦での苦しい展開も、グラウンドの選手、ベンチの選手、フェンス越しの後輩達、そしていつも彼らを支えてくれる大人達、みんなが気持ちを一つに闘いました。この選手達は本当に野球とこのチームが、このチームで野球をすることが大好きなんだ、いつも感じさせてもらっている、このチームで一番大切にしていることを、改めて深く感じさせてもらった素晴らしい大会でした。



★ 四小地区少年野球クラブ 主将 本砂 柊海(モスナ シュウ)

僕達のチームは2度目の県大会でした。あの匂いと海を見ると去年の秋を思い出します。決勝まで行ったもののダブルヘッターということもあり、体力が無くなり大差で負けてしまいました。僕達はその悔しさを胸に一生懸命練習して来ました。そして本番、1試合目2試合目と逆転勝利、準決勝は4点差で勝ち、勢いをつけて悪天候の中、決勝を迎えました。ですが、初回に6点を取られ、2回からは無失点で抑え2点差まで追い詰めたものの、最終回に8点を取られ大差で負けてしまいました。僕達にはまだ体力が足りないことが分かりました。これからもっと力をつけて、ろうきん旗に向けて頑張っていきたいです。



★ 四小地区少年野球クラブ 推薦選手 秋山 大翔(アキヤマ ヒロト)

昨年、関東学童秋季大会の決勝戦で敗れてから、八か月経った大会でした。僕たちは、去年のリベンジを果たし優勝するという強い気持ちでこの大会に臨みました。僕は3番打者としての使命を果たさなければという思いでした。ボックスに立った時、何も考えず投手の球だけに集中しました。準決勝で四打数四安打、決勝でも三打数二安打と最高のバタニングができましたが、チームは敗れ準優勝となりました。悔しかったけれど磯辺シャークスさんのバタニングは素晴らしかったです。この大会で学んだことを忘れずに毎日練習に励み次の県大会で有終の美を飾りたいです。



★ 四小地区少年野球クラブ 監督 神宮司 清(シングウジ キヨシ)

今年は、女子選抜、全日本学童と県大会で柏市代表が優勝するという強い運気をもたらったのか、1回戦、2回戦とも逆転で勝利し流れに乗り、決勝まで進むことができました。昨秋の忘れ物を捕りに行こうと強い気持ちで臨みましたが、決勝では運気も味方に出来ず完敗。力の差を見せつけられました。最終日まで楽しませてくれた選手たちありがとう。また新たな目標に向かって頑張ろう。今大会を盛り上げて頂いた皆様には本当に感謝申し上げます。ありがとうございました。